

令和3年度 事業評価書

事業概要

住民と行政の協働による環境美化と地域環境の保全に努めます

担当課 環境課
環境保全係 内線524

予算科目 4 款 1 項 3 目 1 事業 環境保全対策事業費

予算額	25,253千円	財源内訳	国庫支出金	14,653千円	県支出金	7,671千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	2,929千円
決算額	23,621千円	財源内訳	国庫支出金	11,837千円	県支出金	2,909千円	町債	0千円	その他	0千円	一般財源	8,875千円

計画（PLAN）

主な事業	環境保全対策事業				環境保全啓発事業			
事業内容	生活環境改善事業 地下水位調査 水質調査 環境美化清掃活動 地区一斉清掃ごみ収集運搬 合併処理浄化槽設置推進				環境美化清掃活動啓発 緑のカーテン事業 環境学習推進事業			
基本施策① ※①	1-6	豊かな自然を活かしたひとづくり			1-6	豊かな自然を活かしたひとづくり		
基本施策② ※①	3-7	心と体安らぐ自然・住環境			3-7	心と体安らぐ自然・住環境		
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営			4-4	持続可能な行財政運営		
重点政策 ※②	①	2	③		①	2	③	

評価（CHECK）

事業指標	汚水処理人口普及率					緑のカーテン事業				
目標値	41.9%					100世帯				
実績値	42.8%					52世帯				
達成度	達成					未達成				
担当課評価 ※③	汲み取り便槽・単独浄化槽からの転換には上乗せで補助を実施しました。目標は達成しましたが、汚水処理人口普及率は依然として低い状況となっています。					配布資材の拡充を検討しましたが、配布資材の拡充が行えなかったため、緑のカーテンを実施する世帯も減少したものと思われます。				
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い	1	2	③	4 5 高い	低い	1	2	③	4 5 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い	1	2	③	4 5 高い	低い	1	2	③	4 5 高い

実施（DO）

主な事業	環境保全対策事業	環境保全啓発事業
予算額	22,773,000円	2,342,000円
決算額	21,214,643円	2,336,022円
財源（一般財源）	6,687,072円	2,117,303円
（そ の 他）	14,527,571円	218,719円
執行率	93.2%	99.7%
事業実績	・水質検査 7ヵ所（2回） ・環境美化清掃活動 9回実施 ・地区一斉清掃ごみ収集運搬 8地区（回収量15,760kg） ・合併処理浄化槽設置 35基	・緑のカーテン事業 公共施設に設置 7ヵ所 町内協力者に配布 52世帯 ・環境学習推進事業 環境共育推進事業 3事業実施 町自然観察会 1回実施

改善（ACTION）

課題	汲み取り便槽・単独浄化槽からの転換は11基であり、転換があまり進んでおりません。いかに補助制度の内容をわかりやすく周知し転換を推進し汚水処理人口普及率を向上していくかが課題となっております。	温室効果ガスの削減は世界的な取組となっており、南知多町としても推進していく必要があります。今後参加者をさらに増やす取り組みが必要です。
改善・対応策	汲み取り便槽・単独浄化槽からの転換には上乗せで補助をしているが、転換によるメリットなど、広報やHPなどでさらなる周知を図り転換を進めます。	令和4年度では配布資材の充実を図りました。今後は募集世帯数を増やすなど、さらなる参加世帯の獲得を推進します。
推進方針 ※⑤	B	A

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低 （効率性）…事業の費用対効果の高低
※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和3年度 事業評価書

事業概要	環境衛生対策を図るため、不法投棄ごみの対策及び食用廃油の回収、狂犬病予防接種と犬の登録を実施します										担当課 環境課 環境衛生係 内線523・525
予算科目	4 款	1 項	3 目	2 事業	環境衛生狂犬病対策事業費						
予算額	1,455千円			財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他 876千円 一般財源 579千円
決算額	652千円			財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	0千円	町債	0千円	その他 299千円 一般財源 353千円

計画（PLAN）

主な事業	環境衛生対策事業		狂犬病予防対策事業	
事業内容	食用廃油回収事業 不法投棄ごみ等対策事業 はち防護服の貸出し事業		犬の鑑札交付事業 狂犬病予防注射済票交付事業	
基本施策① ※①	3-7	心と体安らぐ自然・住環境	3-7	心と体安らぐ自然・住環境
基本施策② ※①	1-1	地域で大切にしている子育て環境	1-1	地域で大切にしている子育て環境
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営	1-6	豊かな自然を活かしたひとづくり
重点政策 ※②	①	2	③	① 2 ③

評価（CHECK）

事業指標	食用廃油回収量	狂犬病予防注射接種率
目標値	7,000リットル	89%
実績値	6,530リットル	86%
達成度	未達成	未達成
担当課評価 ※③	可燃ごみ用指定ごみ袋の有料化とリサイクル意識の向上もあり、コロナ前の水準に近づいています。	コロナ前の接種率（91%）に届きませんが、集団接種ではなく、委託獣医師による接種が増加しています。
基本施策有効評価（妥当性）※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価（効率性）※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

実施（DO）

主な事業	環境衛生対策事業	狂犬病予防対策事業
予算額	1,049,000円	406,000円
決算額	352,910円	298,825円
財源（一般財源）	352,910円	0円
（その他）	0円	298,825円
執行率	33.6%	73.6%
事業実績	食用廃油回収 6,530リットル 不法投棄ごみ回収 1,440kg	登録頭数 976頭 狂犬病予防注射接種頭数 834頭

改善（ACTION）

課題	回収が年3回では少なく、出しやすさに欠けています。	法律上6月までに接種義務がありますが、コロナ特例で12月までに接種すればよいと定められています。定められた期間での接種義務のさらなる周知が必要です。
改善・対応策	R4から、半島側は毎月、離島側は年4回に回収を拡大します。	集合注射案内と未接種者への案内に接種義務をわかりやすく記載します。
推進方針 ※⑤	A	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和3年度 事業評価書

事業概要

海岸漂着物の清掃や篠島、日間賀島のごみ処理施設の維持管理を行います

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 2 項 1 目 1 事業 ごみ処理業務費

予算額	70,457千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	6,815千円	町債	0千円	その他	59千円	一般財源	63,583千円
決算額	65,512千円	財源内訳	国庫支出金	0千円	県支出金	6,465千円	町債	0千円	その他	46千円	一般財源	59,001千円

計画（PLAN）

主な事業	離島ごみ処理施設維持管理事業			海岸漂着物等地域対策推進事業		
事業内容	離島最終処分場汚水処理施設管理業務 離島最終処分場管理業務 離島事業系ごみ収集運搬（島外搬出） 離島可燃ごみ収集運搬（フェリー運休時対応） ダイオキシン類排出実態調査 離島最終処分場汚水処理施設維持修繕			住民や観光客の憩いの場となっている町内海水浴場等に漂着したごみ対策として、定期的に海岸清掃を実施し、海岸及び自然環境の保全に努めます。		
基本施策① ※①	3-7	心と体安らぐ自然・住環境		3-7	心と体安らぐ自然・住環境	
基本施策② ※①	3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		2-4	何度も訪れたい観光・交流	
基本施策③ ※①	4-4	持続可能な行財政運営		1-1	地域で大切にする子育て環境	
重点政策 ※②	1	2	③	①	2	③

評価（CHECK）

事業指標	最終処分場放流水ダイオキシン類排出実態調査	海岸漂着物等地域対策推進事業の実施
目標値	10pg-TEQ/ℓ以下	5か月
実績値	0.0013pg-TEQ/ℓ	5か月
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	離島最終処分場が適正に管理できました。	漂着ごみを回収でき、きれいな海岸が維持できました。
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い

実施（DO）

主な事業	離島ごみ処理施設維持管理事業	海岸漂着物等地域対策推進事業
予算額	62,698,000円	7,772,000円
決算額	58,089,816円	7,421,697円
財源（一般財源）	58,043,382円	956,697円
（その他）	46,434円	6,465,000円
執行率	92.7%	95.5%
事業実績	離島最終処分場を適正に管理できました。 令和3年9月7日付で篠島最終処分場を廃止しました。	漂着ごみを52,210kg回収できました。

改善（ACTION）

課題	最終処分場汚水処理施設の老朽化による修繕費用の増加、旧焼却施設解体費用の確保が必要です。	2月から8月は実施期間外ですが、ボランティア等のごみ回収は実施されており、期間の延長が必要です。
改善・対応策	修繕費用を抑制する方策を検討し、引き続き、国に補助の拡充要望を行います。	実施期間の延長を検討します。
推進方針 ※⑤	B	A

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低 （効率性）…事業の費用対効果の高低
※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討

令和3年度 事業評価書

事業概要

適切なごみの収集及びごみ減量化のため、指定ごみ袋の作成販売、エコステーションの運営をします。

担当課 環境課
環境衛生係 内線523・525

予算科目 4 款 2 項 1 目 2 事業 ごみ減量収集対策事業費

予算額 40,167千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 0千円 町債 0千円 その他 4,194千円 一般財源 35,973千円

決算額 32,847千円 財源内訳 国庫支出金 0千円 県支出金 1,673千円 町債 0千円 その他 4,631千円 一般財源 26,543千円

計画（PLAN）

主な事業	ごみ収集対策事業	ごみ減量化対策事業
事業内容	指定ごみ袋作成事業 小動物死骸処理事業 ごみ集積所整備事業	古紙・びん等回収促進事業 エコステーション事業 生ごみ堆肥化容器等設置奨励補助
基本施策① ※①	3-7 心と体安らぐ自然・住環境	3-7 心と体安らぐ自然・住環境
基本施策② ※①	1-1 地域で大切にする子育て環境	1-1 地域で大切にする子育て環境
基本施策③ ※①	4-4 持続可能な行財政運営	4-4 持続可能な行財政運営
重点政策 ※②	① 2 ③	① 2 ③

評価（CHECK）

事業指標	家庭系ごみの1人1日当たりごみ量（R4目標 573g）	家庭系ごみのリサイクル率（R4目標 23.1%）
目標値	618g	22.0%
実績値	546g（速報値）	28.7%（速報値）
達成度	達成	達成
担当課評価 ※③	広報、ゴミ減量化通信、町公式ホームページなどによる周知及び有料の指定ごみ袋の導入などの減量施策の効果があり、ごみが減りました。	広報、ゴミ減量化通信、町公式ホームページなどによる周知及びリサイクル施策の効果により、リサイクルが進みました。
基本施策有効評価（妥当性） ※④	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い	低い 1 2 3 4 ⑤ 高い
費用対効果評価（効率性） ※④	低い 1 2 3 ④ 5 高い	低い 1 2 3 ④ 5 高い

実施（DO）

主な事業	ごみ収集対策事業	ごみ減量化対策事業
予算額	25,283,000円	10,816,000円
決算額	22,632,788円	10,213,762円
財源（一般財源）	18,421,124円	8,068,366円
（そ の 他）	4,211,664円	2,145,396円
執行率	89.5%	94.4%
事業実績	○可燃ごみ用指定ごみ袋作成 45ℓ：65万枚、30ℓ：57万枚、15ℓ：19万枚 ○プラスチック製容器包装用指定ごみ袋作成 45ℓ：36万枚、30ℓ：24万枚	○古紙・びん等回収 実施団体：8団体 回収量：331,063kg ○エコステーション事業 開設場所：2か所に増加 回収量：117,855kg

改善（ACTION）

課題	分別収集で、分別せずに排出される場合がありますので、さらなる周知が必要です。	食べ残しや使い残しによる生ごみが多く、分別されるべき資源も可燃ごみとして排出されています。
改善・対応策	要望に応じ説明会を開催し、イベントでのPRを実施します。	生ごみを減らすためにコンポスト購入の補助金額を増額します。
推進方針 ※⑤	B	B

※① 基本目標・基本施策…別紙 総合計画体系表参照
※② 重点政策 ① 子育て支援と教育の充実 ② 産業の活性化と雇用の確保 ③ 定住支援
※③ 事業に対する評価及び、前年度事業評価書ACTIONに対する評価
※④ 評価（妥当性）…基本施策に対する有効性の高低（効率性）…事業の費用対効果の高低
※⑤ 推進方針 A…拡充 B…現状維持 C…縮小 D…廃止検討